

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 4 月 6 日(2022.4.6)

【公開番号】特開 2020-190305(P2020-190305A)
 【公開日】令和 2 年 11 月 26 日(2020.11.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-048
 【出願番号】特願 2019-96543(P2019-96543)
 【国際特許分類】

F 1 6 F 15/14(2006.01)

10

【F I】

F 1 6 F 15/14 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 4 年 3 月 18 日(2022.3.18)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【請求項 7】

前記第 1 回転体は、環状に配置された第 1 当接部を有し、前記第 1 当接部は外周面又は内周面に第 1 当接面を有し、

前記第 2 回転体は、環状に配置された第 2 当接部を有し、前記第 2 当接部は、前記第 1 回転体に対して前記第 2 回転体を径方向に位置決めするための第 2 当接面を内周面又は外周面に有し、前記第 2 当接面は前記第 1 当接面に当接可能である、
 請求項 1 から 6 のいずれかに記載の回転装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 7】

30

(7) 好ましくは、第 1 回転体は、環状に配置された第 1 当接部を有し、第 1 当接部は外周面又は内周面に第 1 当接面を有している。そして、この場合は、好ましくは、第 2 回転体は、環状に配置された第 2 当接部を有し、第 2 当接部は、第 1 回転体に対して第 2 回転体を径方向に位置決めするための第 2 当接面を内周面又は外周面に有している。この第 2 当接面は第 1 当接面に当接可能である。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 4】

40

バランス修正部 1 2 2 は、円周方向において突起 1 2 a とほぼ同じ長さを有し、径方向に所定の厚みを有している。このバランス修正部 1 2 2 によって、アンバランス部 2 0 1 d , 2 0 2 d , 2 0 1 e , 2 0 2 e による回転のアンバランスが修正され、トルク変動抑制装置 1 4 全体としての回転アンバランスは、小さく抑えられている。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 7 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 3 】

(a) アンバランス部の構成は前記各実施形態の構成に限定されない。例えば、第 1 実施形態において、切欠及び膨出部の一方だけを設けてもよい。また、イナーシャリングに別の重りを固定する、あるいは孔を開ける等によって実現してもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 7 4

10

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 7 4 】

(b) 前記実施形態では、バランス修正部をハブフランジに設けたが、例えば、図 1 に二点鎖線で示すように、このトルク変動抑制装置が装着されたトルクコンバータのタービン 8 (第 3 回転体の一例) にバランス修正部 8 a を設けてもよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 2

【補正方法】 変更

20

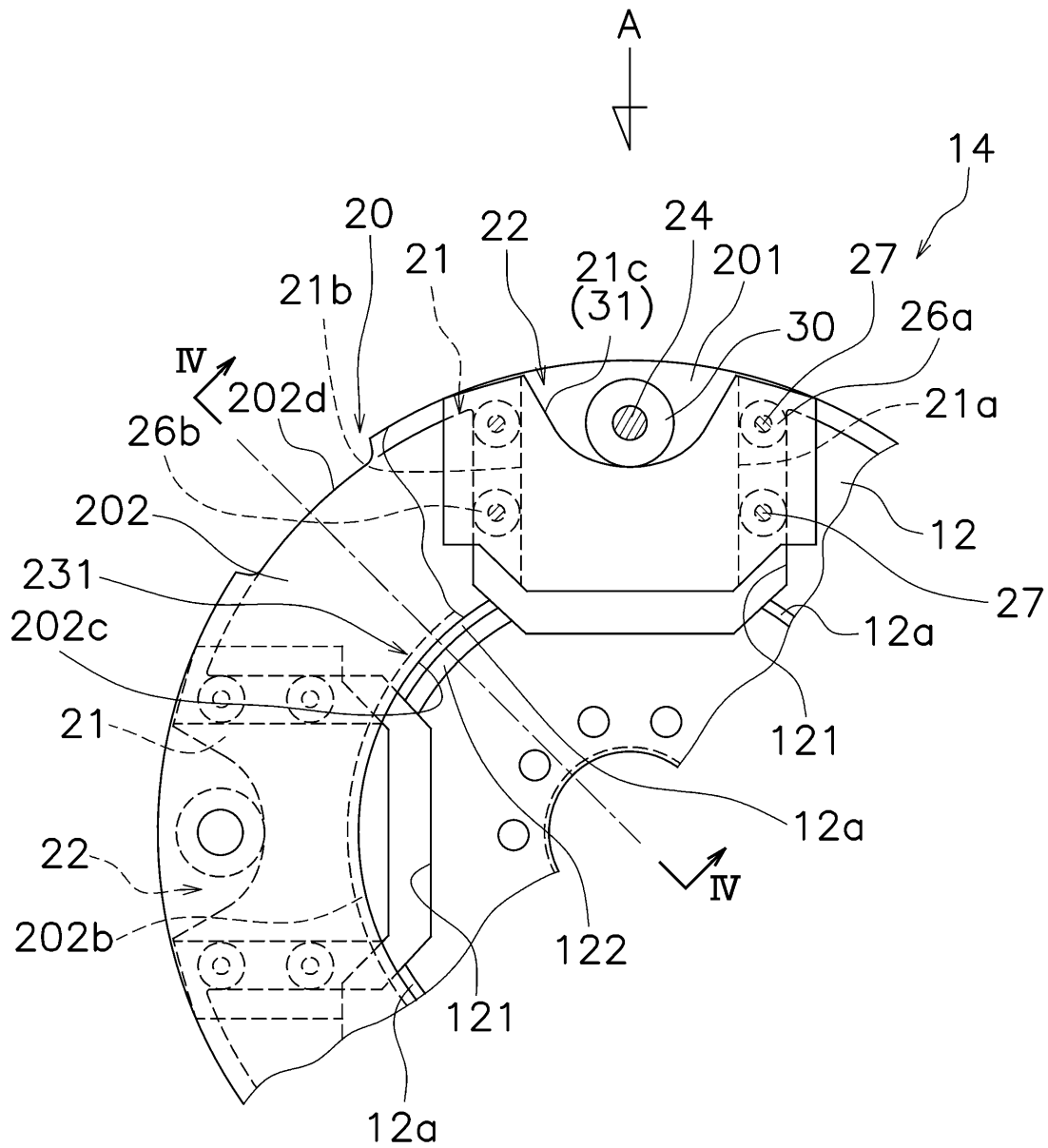
【補正の内容】

30

40

50

【 図 2 】



【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

10

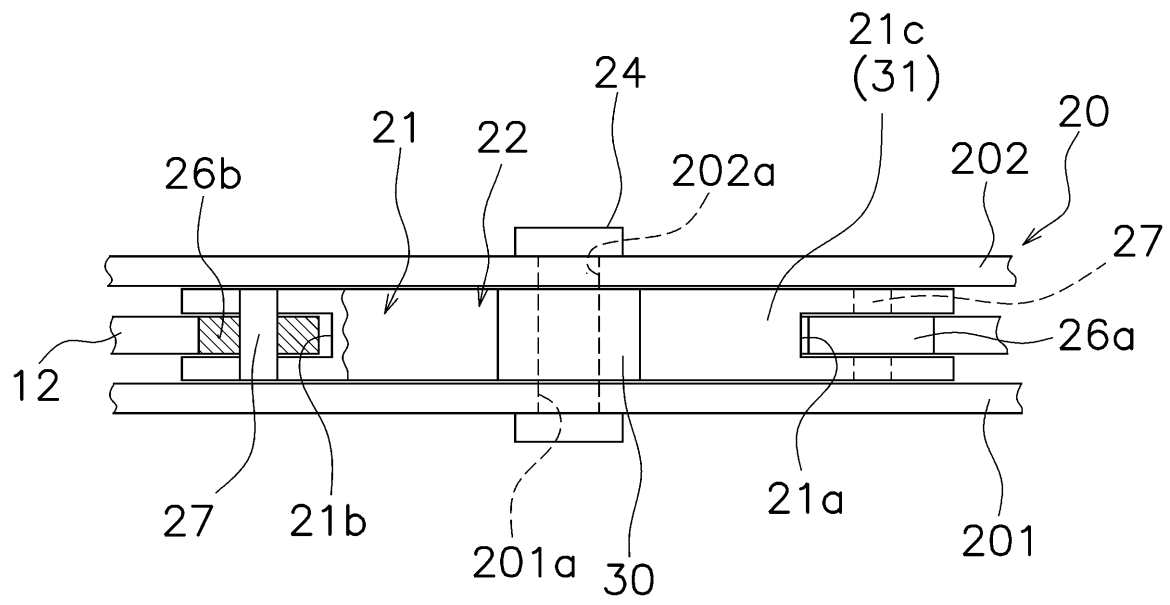
20

30

40

50

【図 3】



10

20

30

40

50